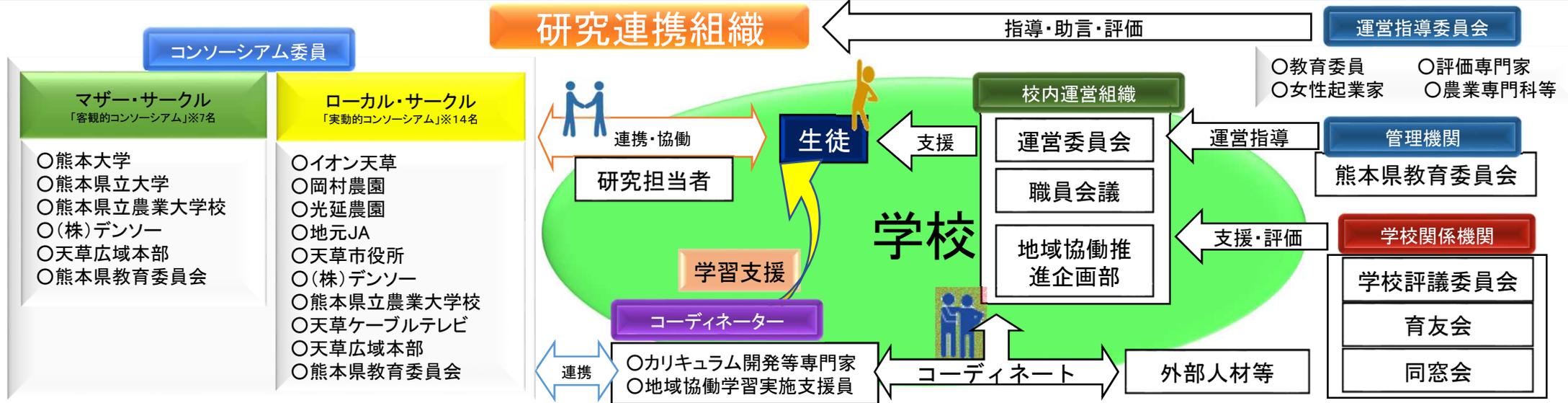
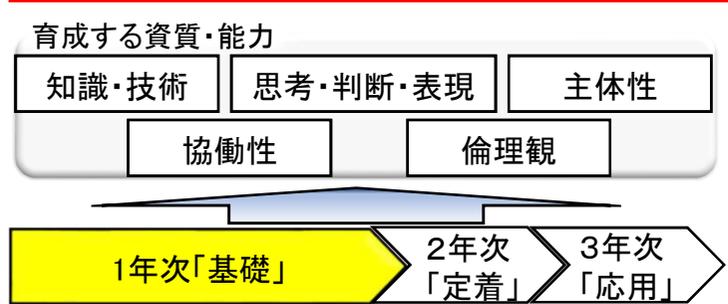


# 産業イノベーション人財の育成 ～天草の魅力ある農業で持続可能な未来を拓くリーダー～

**研究開発の背景** ○天草地域では、若年層の流出及び高齢者率の増加などから人口減少が進行している。地域産業を変革し、地域創生の要となる将来的なリーダーが必要であり、Society5.0を生き抜くための資質・能力を備えた人材育成が求められる。



## 令和元年度の目標



**2つの研究軸**

**課題研究型学習**

- 1年次の重点目標 「地域課題の発見・解決の手法を学ぶ」
- 主な実施科目: 「農業と環境」、「総合実習」

**職業観の育成**

- 1年次の重点目標 「情報収集・活用方法を学ぶ。職業倫理の醸成」
- 主な実施科目: 「農業と環境」、「総合実習」

## 取組状況

- 課題研究型学習: プロジェクト学習の手法を用いて年間を通じて実施
- 外部人材との協働学習: 年間22回
- 主体的な学習環境の整備: 天拓Labの設置
- 情報収集・活用に関する研修等: 年間6回
- 地域理解に関する研修等: 年間4回
- 課題発見に関する研修等: 年間4回
- GAPに関する研修: 年間2回
- HACCPに関する研修: 年間1回
- 各種講演会・交流会等: 年間20回
- 先進地視察研修: 年間3回
- 研究発表の機会: 年間2回
- SBP活動: 年間を通じて実施
- コンソーシアム会議等: ローカル・サークル3回(内1回は合同)、マザー・サークル2回(内1回は合同)
- 運営指導委員会: 年間2回

## 成果

- 年間を通して外部人材との協働学習や交流を通じて、地域の現状や課題等について理解を深めることができた生徒の割合は63%程であった。
- カリキュラム開発の観点から、課題研究型学習をテーマとした科目間の横断的な取組みを実現することができた。
- PDCAサイクルによる課題解決の手法について理解を深め、地域課題の解決方法を探求するための主体性と協働性を身に付けることができた。

## 課題

- 地域内外への情報発信などのアウトプットの充実化
- 指導する立場である教職員のスキルアップ
- 授業及び研究項目の目標の具体化・明確化
- 教職員の負担感軽減に繋げる組織の見直し・改善
- 普通教科との横断的なカリキュラム開発及び教育課程の見直し
- 新たな学習評価システムの具現化による学校教育の検証・分析